

風水害に備えて

国危機管理課 ☎ 43・5203

毎年、台風や豪雨による被害が日本各地で発生しています。
「昔から大きな災害は起こったことはない、浸水しても床下浸水ぐらい、もう少し様子を見よう」などという思い込みは、災害に遭ってしまふ原因となることがあります。「私は大丈夫」と思わず、「もしもに備える」ことがとても大切です。
日頃から災害が起きたときのことを考え、事前に備えることで被害を少なくすることが出来ます。また、風水害は気象情報等に注意することで、ある程度の予測が可能です。いざというときに自分の身を守るように、早めに備えておきましょう。

危険個所を確認しよう

まず、自宅や勤務先の周辺は、どのような災害に注意すべきかを確認しましょう。
特に、山間部は、がけ崩れ・土石流の危険性があります。また、川や水路が近い場所、周囲より低い土地は、川の氾濫や浸水による被害の恐れがあります。危険個所を確認しておき、災害時には近づかないようにしましょう。
南あわじ市ハザードマップや兵庫県CGハザードマップには、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などが掲載されています。



▲兵庫県 CG ハザードマップの二次元コード



▲南あわじ市発行のハザードマップ。
お持ちでない人には危機管理課で配布します

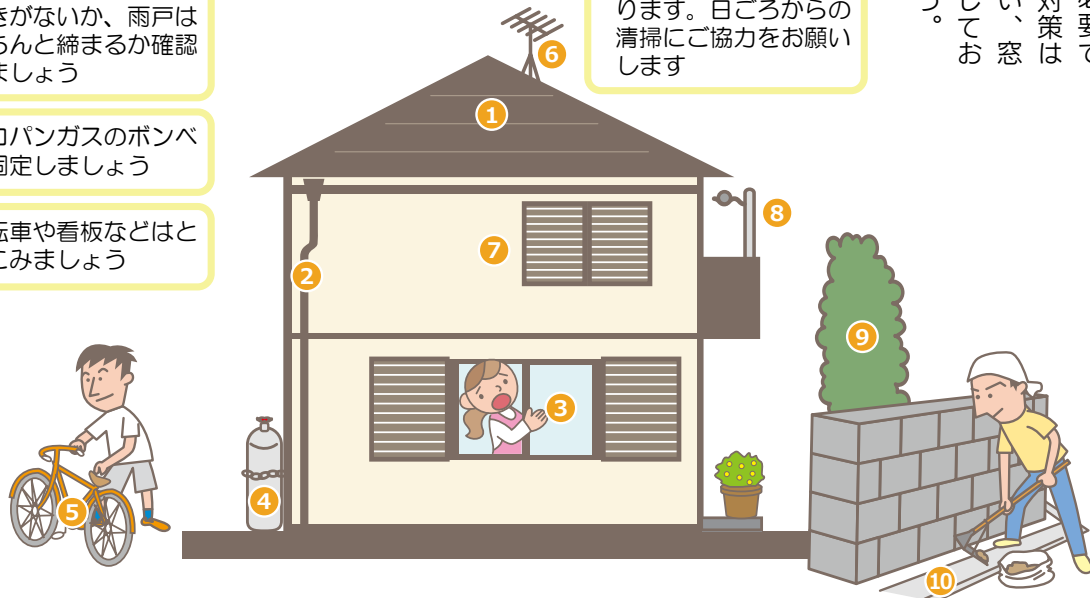
自宅周囲の点検・

安全対策をしよう

家屋にも風水害への備えが必要です。台風や豪雨が迫ってからの対策は危険です。日頃から屋根や雨どい、窓ガラスなど、自宅の周囲を点検しておき、事前に安全対策をしましょう。

◎自宅周囲の点検ポイント

- 1 トタンのめくれや、瓦のひびやずれがあれば修理しましょう
- 2 雨どいに落ち葉や砂が詰まり、排水が悪くなっていないか点検しましょう
- 3 ひび割れや窓枠のがたつきがないか、雨戸はきちんと締まるか確認しましょう
- 4 プロパンガスのボンベを固定しましょう
- 5 自転車や看板などはとりこみましょう
- 6 テレビなどのアンテナに腐食やぐらつきがあれば修理しましょう
- 7 壁に亀裂やひび割れがないか確認しましょう
- 8 鉢植えや物干し竿などは飛ばされないように室内へ移しましょう
- 9 風で飛ばされそうな庭木は補強しておきましょう
- 10 側溝が詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日ごろからの清掃にご協力をお願いします



非常持ち出し品・

備蓄品を準備しよう

いざという時に備えて、避難する際に持ち出す「非常持ち出し品」や、被災直後の生活に必要な「備蓄品」を準備しておきましょう。
ご家庭の事情に合わせて、必要な用品を準備しましょう。



◎非常持ち出し品・備蓄品（例）

防 災 用 品		日 用 品	
☐ 携帯電話・充電器	☐ ナイフ・缶切り	☐ タオル	☐ 寝袋
☐ 懐中電灯	☐ ホイッスル	☐ ティッシュ	☐ 歯ブラシ
☐ 携帯ラジオ	☐ ヘルメット・防災ずきん	☐ ビニール袋	☐ ラップ
☐ 予備の電池		☐ 上着・防寒着	☐ 毛布
☐ 時計		☐ 下着	☐ 生理用品
☐ 軍手・手袋			
☐ レジャーシート			
☐ マッチ・ライター			
飲 料 水 ・ 非 常 食		医 薬 品	
☐ ペットボトル		☐ 常備薬・持病薬	☐ おくすり手帳
☐ 缶詰など		☐ 包帯・傷薬	
		☐ 体温計	
乳 児 用 品		貴 重 品	
☐ 粉ミルク・離乳食	☐ おんぶひも	☐ 現金（紙幣・硬貨）	
☐ 哺乳瓶	☐ 母子手帳	☐ 健康保険証	
☐ 携帯やかん・燃料		☐ 身分証等（コピー）	
☐ 防寒用品		☐ 預金通帳	
☐ 紙おむつ・おしりふき		☐ 印鑑	